

「立春」を過ぎ、徐々に日が延びてまいりました。朝晩の冷え込みも徐々に弱まり、梅の開花があちらこちらでみられるようになりました。インフルエンザの流行も、徐々に落ち着きを示してきましたが、依然として、予断は許せません。

手洗い・うがいの励行、体力づくり、規則正しい生活などをおして、健康の保持・増進に心掛け、学校生活を元気で有意義に過ごせるようにしていきたいと思えます。

今、年度末の時期を迎え、綿打小学校の児童は、卒業・修了を間近にして、この1年間の学習を振り返りつつ、自身の成長をみつめ、進学・進級に向けて新たな出発を待ち望んでいます。



音楽のある 心豊かな 綿打小学校



本校では、学年の発達段階に即した学級の音楽の時間はもとより、年間を通して音楽活動を行っています。9月、運動会での5・6年生の「鼓笛パレード」は、とてもみごとでした。


そこで、「音楽のある心豊かな綿打小学校」について、紹介します。

①「今月の歌」(朝の会)

学校生活の一日のスタートのとき、「朝の会」の時間には、各教室から、元気な歌声が聞こえてきます。「今月の歌」を一緒に歌い、音楽に親しむことにより、学級の児童の心が一つになり、一人一人の心の中に落ち着きと爽やかな気分を生み出し、豊かな心が育まれています。

毎朝、各学級で歌われる「今月の歌」は、次のような計画で行われています。



5月	はじめの一步		11月	もみじ
6月	学校坂道		12月	ゆめに向かって(第2校歌)
7月	世界中のこどもたちが		1月	ビリーブ
9月	世界がひとつになるまで		2月	たんぽぽ
10月	すてきな友達		3月	ありがとうさようなら

②「音楽集会」(学期1回)

毎学期、行っている「音楽集会」では、各学年から合奏と演奏の発表を行ってきました。

1学期には、3年生のリコーダー奏「笛星人」「小さな花」と6年生の合奏「ラバースコンチェルト」を発表し、楽しい時間を過ごすことができました。

2学期には、2年生の歌と合奏「山のポルカ」と4年生のリコーダー奏「カントリーロード」及び合唱「ぼくらの地球」を発表しました。4年生の児童は、11月13日(木)、「太田市小中学校音楽発表会」で、この2曲を心を込めて発表し、参加者の感動を呼び起こしました。

3学期には、1・5年生が発表に向けて練習を続け、発表の日を楽しみにしてきましたが、インフルエンザ流行の影響により、残念ながら中止になりました。

③「音楽鑑賞会」(2学期)

11月18日(火)には、平成26年度「次代を担う子ども文化芸術体験事業」(文化庁、群馬県、群馬県教委、太田市教委主催)として、「中部フィルハーモニーオーケストラ」の皆さんをお迎えし、体育館で「音楽鑑賞会」が行われ、児童は、オーケストラの演奏と音楽体験をおして、芸術の秋を満喫しました。

④「音楽クラブ発表会」(3学期)

2月5日(木)には、「音楽クラブ発表会」で、全校児童が体育館に集い、5・6年生の音楽クラブ児童による合奏「千本桜」が披露され、大きな拍手が巻き起こりました。

⑤ お昼の放送(放送委員会担当)

給食時には、放送委員会の担当により、お昼の放送において、食欲をそるさわやかな音楽が流れ、楽しくおいしい給食の時間を演出しています。



いのちの大切さを学び 豊かな心を育む学習

児童は、発達段階に応じて、いのちの大切さを学び、豊かな心を育む学習を続けています。

(1) 第2回PTA人権教育研修会(保護者・6年生対象)

2月6日(金)、保護者と6年児童を対象に、ボランティアグループ「クローバーの会」の3人の講師の方々をお迎えし、「第2回PTA人権教育研修会」が行われました。研修会の内容は、「葉っぱのフレディー」と「12の贈り物」の朗読です。子どもたちは、2編の物語の朗読を聴いて、「いのちの大切さ」を学ぶことができました。参加した保護者の皆さんも、熱心に聴講され、「いのちを守る」ことの意義や価値を再確認されたのではないのでしょうか。

(2)「読み聞かせ」(1~4年生対象)と「読書活動」(3~6年生対象)

本校では、火曜日の朝の時間に「読み聞かせ」と「読書活動」を行っています。「読み聞かせ」は、1~4年生児童が地元ボランティアの方々から絵本を読んでいただいています。「読み聞かせ」と「読書活動」の継続により、子どもたちに「豊かな心」が育まれてきています。

(3)「動物ふれあい教室」(1年生対象)

1年児童は、学級ごとに「動物ふれあい教室」を行っています。2月6日(金)を初日として、3回にわたって行い、稲村動物病院の先生をお迎えし、うさぎとのふれあいを体験します。

初日は、1組児童が多目的室で2羽のうさぎを順番に優しくだっこしたり、聴診器で友達の心音(心臓の音)やうさぎの心音を聴いたり、うさぎに野菜を食べさせたりしました。動物を可愛がることにより、「いのちの大切さ」を感じることはできたのではないのでしょうか。

群馬テレビ番組「みんなの時間」3月3日



綿打小通信1月号でもお知らせしましたように、群馬テレビの放送番組「みんなの時間」で、綿打小学校が3月3日(火)午後7:00から30分間放送されます。再放送は、翌4日(水)昼12:30からの予定です。放送に向けて、現在、番組の取材・編成が行われています。

この番組は、今年で3年目、群馬県教育委員会の提供により、地域に支えられた小・中学校の教育活動の様子を紹介し、学校教育についての理解を深めていただくことを趣旨としています。保護者・地域の皆様には、ぜひ、ご家族おそろいで番組をご覧になってください。



スクールカウンセラーをご利用ください

スクールカウンセラー(以下、SC)の利用について、ご案内をいたします。

本校には、柴田ひとしSCが金曜日の勤務日に来校し、相談活動に当たっています。年度当初に、SCから資料を配布してお知らせをしましたように、相談は、学校生活に悩みや困難を抱えている児童及び保護者の皆さんへの相談をとおして、解決をめざしています。相談の内容については、秘密を守ります。相談のお申し込みは、随時、学級担任や教育相談担当の空井教諭等に電話(学校Tel 0276-57-1067)や紙面等で行ってください。原則として、金曜日が相談日になりますが、年間の来校日数による計画がありますので問い合わせください。

綿打農業小学校「うどんの講習会」と「卒業式」

2月8日(日)、綿打行政センターで綿打農業小学校の「うどんの講習会」と「卒業式」が行われました。綿打農業小学校は、今年で開校12年目になります。「うどんの講習会」では、参加した19家族64名の皆さんが、「うどんづくり」を体験したあと、地元の皆さんの手料理によるおいしい「うどん」と地元野菜の「漬け物」が用意され、一緒にテーブルを囲んでいただき、楽しいひとときを過ごしました。昼食後は、1年間の農業体験を修了した35名の子どもたちに、福島校長先生から「卒業証書」と記念の手づくり「ブンブンゴマ」が手渡され、子どもたちは、満面の笑みを浮かべ、とてもうれしそうでした。農業体験の継続をとおして、農作物への感謝の気持ちが育てられてきているように思います。また、親子で参加することにより、一緒に汗を流し、家族のふれあいと絆が深まったのではないのでしょうか。

3月には、13年目を迎える綿打農業小学校「平成27年度入学式」を行うそうです。